

このメールは大田区の配信情報提供サービスに登録されている方に送信しています。

大田区保健所メール 7 月号 令和 8 年 6 月 26 日

【 目 次 】

- 1 感染症情報
- 2 食中毒発生状況
- 3 トピックス
知って防ごう！身近な食中毒
猫の適正飼養教室
ハチの巣に関する相談専用電話
- 4 特集
蚊対策

1 感染症情報

◆感染症の最新情報はこちらから◆

↓↓↓

○大田区「感染症週報」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/kansen_taisaku/syuuhou.html

◆◆◆感染症流行状況について◆◆◆

定点報告疾患の中では夏季に流行する感染症が一部増加しています。咽頭結膜熱は第 21 週(5月18日～5月24日)の 0.69 から第 23 週(6月1日～6月7日)は 1.38 と増加傾向です。手足口病とヘルパンギーナについては第 23 週時点では落ち着いていますが、7～8 月頃が流行のピークとなるため、引き続き注意が必要です。

大田区内では A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎が、第 19 週(5月4日～5月10日)の 1.08 から第 23 週は 2.46 と増加しました。

【夏季に流行する感染症について】

手足口病や咽頭結膜熱(プール熱)、ヘルパンギーナの流行は例年 5～6 月頃から始まり、7～8 月頃にピークとなります。予防のポイントは、「こまめな手洗い」「うがい」「咳エチケット」です。手洗いのタイミングは、帰宅後、調理前、食事前、トイレやおむつ交換の後です。また、日常的に触れるおもちゃや手すりなどをこまめに消毒し、タオルの共有は避けましょう。

○大田区 HP「手足口病」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/kansen_taisaku/hoka_kansensyo/teashikuchibyout.html

○大田区 HP「ヘルパンギーナ」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/kansen_taisaku/hoka_kansensyo/herpangina.html

○大田区 HP「咽頭結膜熱」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/kansen_taisaku/hoka_kansensyo/poolnetsu.html

◆◆◆A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（溶連菌感染症）について◆◆◆

症状には、38℃以上の発熱、咽頭発赤、莓状の舌、嘔吐などがあります。まれに重症化し、全身に発赤が広がる「猩紅熱（しょうこうねつ）」に移行することがあり、合併症として肺炎、髄膜炎、敗血症、リウマチ熱、急性糸球体腎炎などがあります。発症時は、抗菌薬で治療ができるため、早めに受診をしましょう。咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込んだり、細菌がついた手で口や鼻に触れたりすることで感染します。

こまめに手洗いを行い、咳やくしゃみをするときは口と鼻をティッシュなどでおおうなどの咳エチケットを心がけましょう。

○大田区「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（溶連菌感染症）」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/kansen_taisaku/hoka_kansensyo/yorenkin.html

◆◆◆蚊が媒介する感染症について◆◆◆

海外の熱帯、亜熱帯地域で流行している感染症に、デング熱、ジカウイルス感染症、チクングニア熱、マラリアなどがあります。海外旅行前には、渡航先の流行状況を確認し、予防策を準備しましょう。海外で蚊等にさされて熱が出た場合は、できるだけ早く医療機関を受診してください。帰国時に発熱や心配な症状がある場合は、検疫所にご相談ください。

また、日本脳炎など日本で発生がみられる感染症もあります。国内でも蚊が多くいる場所で活動する場合は、できるだけ肌を露出せず、虫よけ剤を使用するなど、蚊にさされないように注意しましょう。

○大田区「デング熱」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/kansen_taisaku/hoka_kansensyo/dengu.html

2 食中毒発生状況

■大田区の食中毒発生状況

令和8年5月に食中毒は発生していません。

■東京都の食中毒発生状況

令和8年5月に、8件（患者81名）の食中毒が発生しました（令和8年6月15日現在）。食中毒の病因物質はノロウイルス3件（患者55名）、アニサキス3件（患者3名）、黄色ブドウ球菌1件（患者17名）、ウエルシュ菌1件（患者6名）でした。原因施設はノロウイルス2件、黄色ブドウ球菌1件、カンピロバクター1件、アニサキス1件が飲食店（一般）、ノロウイルス1件が集団給食、アニサキス2件が不明でした。

○東京都「都内の食中毒発生状況（速報値）」

https://www.hokeniryu1.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin/tyuudoku/r8_sokuhou.html

3 トピックス

■知って防ごう！身近な食中毒

暑い季節、特に注意したいのが食中毒！アニサキスの実物展示や身近な食中毒とその予防方法についてご紹介します。

お子様の自由研究のテーマにもいかがでしょうか。

日時：令和8年8月1日（土）、2日（日） 午前10時～午後4時

場所：イトーヨーカドー大森店 3階ロフト横イベントコーナー

参加は無料です！ぜひお立ち寄りください！

■猫の適正飼養教室

～猫の気持ちがわかるかも。猫はかせへの道～

昨年度大好評だった入交眞巳獣医師による「猫の適正飼養」についての講演を、今年度も同内容で開催します。猫を飼っている方やこれから猫を迎えたいと考えている方など、皆様のご参加をお待ちしております！

【日程】 令和8年8月9日（日曜日）午後2時から午後4時まで

【会場】 田園調布せせらぎ館 1階多目的室（大田区田園調布一丁目53番12号）

※有料の駐車場はありますが、台数に限りがございますので、公共交通機関の利用にご協力をお願いします。

【講師】東京農工大学特任准教授（獣医師）入交眞巳（いりまじりまみ）先生

【定員】 120名程度 先着順（当日、満員になった場合はお断りすることがありますのであらかじめご了承ください。）

【費用】 無料

【申込方法】 不要 当日直接会場へお越しください。

※詳しくはホームページをご覧ください。

○ 大田区ホームページ 「猫の適正飼養教室」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/pet_dog_cat/oshirase/cat-breeding-lecture.html

■ハチの巣に関する相談専用電話＜開設してます！＞

専門業者が相談をお受けします。私有地内の生活に支障のある場所につくられたスズメバチの巣は、土地や建物の管理者が依頼した場合、無料で撤去します。公共施設等にできたスズメバチの巣やスズメバチ以外の巣は対処方法をアドバイスします。

電話番号：03-5747-4010

受付期間：10月26日(月)まで（土・日曜日、休日は除く）

受付時間：午前9時から午後5時まで

○大田区ホームページ「ハチの巣に関する相談専用電話」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/eisei/sumai_soudan/hati/hachisenyoudenwa.html

○大田区ホームページ「スズメバチとアシナガバチ」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/eisei/sumai_soudan/hati/suzume-asinagabati.html

4 【特集】蚊対策

■感染症媒介蚊を減らそう：デング熱の世界的な広がり、今できる対策

デング熱をはじめとするいくつかの感染症は、感染した蚊に刺されることで広がります。近年、デング熱は世界各地で患者報告が増えており、渡航者だけでなく、国内でのリスクにも注目が集まっています。

「蚊を増やさない」ことは、私たち自身を守るだけでなく、地域全体の感染拡大を防ぐことにつながります。

■なぜ今、蚊対策が重要なのか

デング熱の原因ウイルスは、主にヒトスジシマカなどの蚊が媒介します。これらの蚊は、雨が少ない地域でも屋外の水たまりなどがあると繁殖できるため、気づかないうちに数が増えることがあります。

さらに、デング熱は国や地域によって流行状況が変わり、国際的な移動があることで、世界的な広がりが起こりやすくなっています。

感染症は不安を生みますが、重要なのは「予防は今すぐできる」という視点です。

■鍵は「蚊の繁殖を止めること」

蚊は「水」がある場所で増えます。デング熱の媒介蚊対策の基本は、家庭や職場でボウフラの発生源をなくすことです。

今日からできる対策（家庭編）

・水たまりをなくす：植木鉢の受け皿、バケツ、古タイヤ、雨樋のたまり水などをこまめに確認する

・たまった水は処理：溜まってしまった水は捨てる、ふたをする、可能なら乾かす

・定期的な点検：週に1回以上、雨の後は特に短い間隔で確認する

・蚊が止まりにくくする：網戸の点検、屋外での肌の露出を減らす

■地域全体で取り組むと効果が大きい

蚊は個人の努力だけでは限界があるため、自治会や学校、職場でも「発生源の点検」「注意喚起」「清掃」などの取り組みが重要です。

■デング熱の広がりや、「蚊を減らす行動」で食い止められる

デング熱を含む感染症媒介蚊の対策は、特別な知識よりも「水をなくす」「刺されない」「定期点検」の積み重ねです。

デング熱の世界的な広がりが示すのは、対策を“今”始める必要があるという現実です。

今日ひとつ、家の周りの水たまりを確認して、すぐに片づけましょう。

それが地域の安全につながります。

★「手洗い実験キット」の貸し出しをしています

大田区保健所では「手洗い実験キット」の貸し出しを実施しています。普段行う手洗いの状況を目で見て確認することができます。

「手洗い実験キット」の貸し出しを希望される方は、電話またはオンライン申請（LoGoフォーム）による申し込みができます。

【電話の場合】

